

青少年の心と身体を育てる 「ゴールデンエイジにスポーツを」

小学生から中学生にかけて、からだや心が大きく成長し、この時期の経験や習得した能力が、その後の成長や生活スタイルに大きく影響することは広く知られています。この時期は「ゴールデンエイジ」と呼ばれており、この時期に適切な指導のもとで運動を行うことにより、バランス感覚などの運動機能の基礎だけでなく、体を動かす楽しさや、仲間と共感する喜びなど、スポーツを生涯に渡って楽しむ要素を獲得できる重要な時期でもあります。今回は、この時期に重要な役割を果たしているスポーツ少年団の状況について、実施されたアンケート結果などを紹介します。

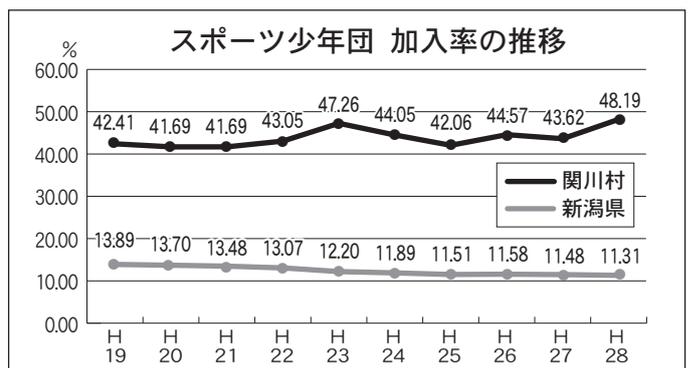
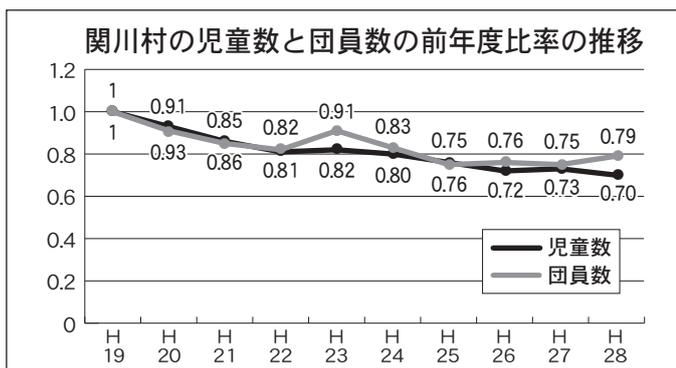
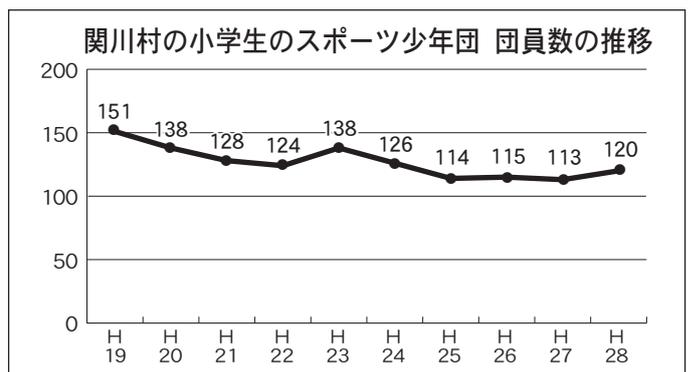
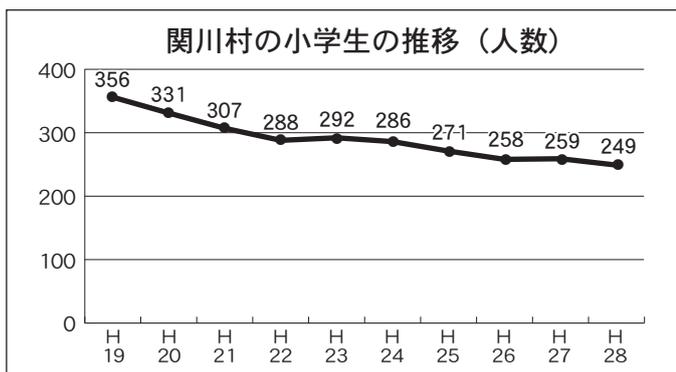


関川村スポーツ少年団は、1981年（昭和56年）に「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設され、スポーツ活動の他、レクリエーション活動、社会奉仕活動を地域において実践してきました。

創設から35年が過ぎ、大人になった団員たちが指導者となり、また地域社会の中心的存在として活躍しています。

また、全国的には近年の少子化や生活・スポーツ環境の変化により、スポーツ少年団員数は減少を余儀なくされていますが、村のスポーツ少年団加入率は40%代をキープしており、県平均を大きく上回っています。

村教育委員会では、これからも60%の加入率を目指し、中学校の部活動との連携や低学年の加入率増加などを進めていきます。

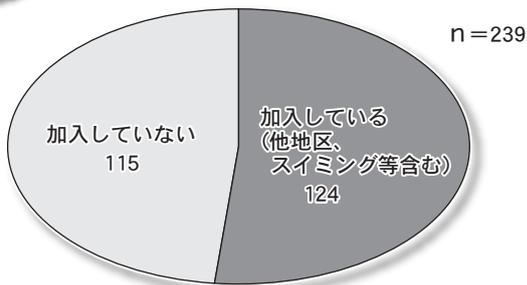


スポーツ少年団に関するアンケート(結果)

教育委員会では、少子化のため競技人数の確保に苦労している種目があることから、小学生やその保護者のみなさんが、スポーツ少年団に加入している理由や加入していない理由を調査し、今後のスポーツ少年団活動の参考にするため、アンケート調査を行いました。その結果を一部抜粋して掲載します。

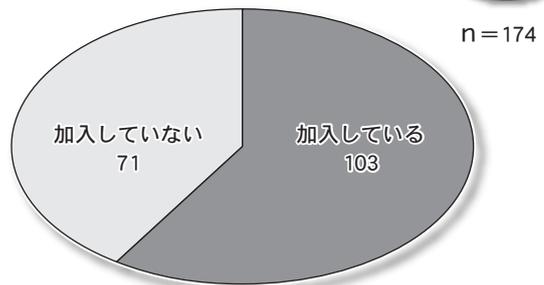
児童

●あなたはスポーツ少年団に加入していますか

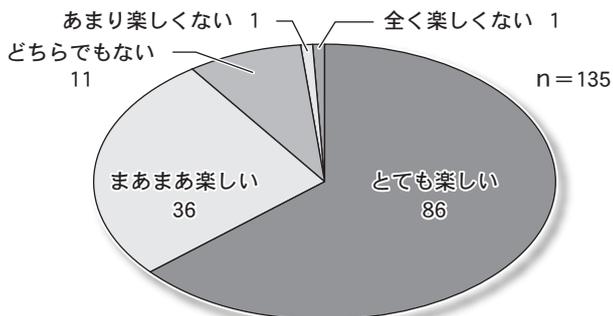


保護者

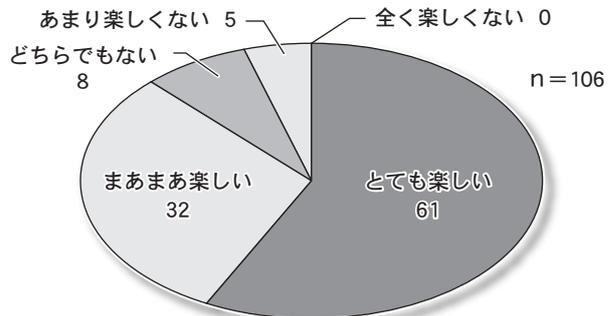
●あなたのお子さんは、スポーツ少年団に加入していますか



●スポーツ少年団の活動は楽しいですか



●スポーツ少年団は楽しいと言っていますか

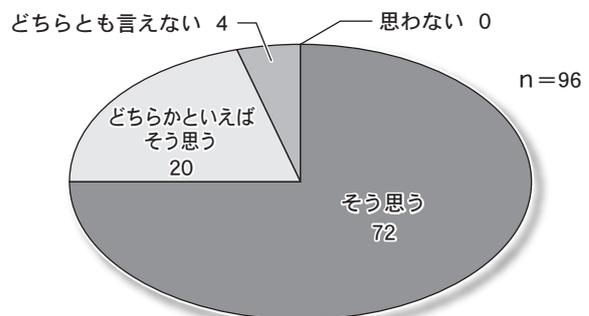


※複数加入者があり、複数回答が含まれています。(その他理由は、次ページ)

●加入していない理由は何ですか

- ・スポーツをしたいと思わない 17人
 - ・やりたい種目がない 20人
 - ・一緒にやる友達がいない 3人
 - ・家で送り迎えができない 19人
 - ・親が反対している 5人
 - ・別の習い事をしている 4人
 - ・分からない 29人
- (その他理由は、次ページ) n=97

●お子さんを加入させて良かったと思いますか



●加入していない理由は何ですか

- ・子どもがやりたいと思っていない 43人
 - ・家の都合で参加させられない 15人
- (その他理由は、次ページ) n=58

※スポーツ少年団加入者が過半数を超えているのは、1人が複数の種目に加入しているからです。

■アンケート実施日■ 平成29年3月7日
 対象者：全校児童 (249人)
 児童回収率 96.0%
 保護者回収率 69.9%

楽しい理由 (児童)

- ・みんなと楽しく目標に向かって練習(活動)できるから。 ・友達と競い合いながら練習できるから。
- ・友達と会える楽しみが増えるから。 ・少し厳しいけれど、うまくなることが楽しいから。
- ・自分がどんどん上達していくのが嬉しくて、みんなで失敗をカバーしたり協力し合ったりするのが楽しいから。
- ・大会とかで、他の学校の人と友達になれるから。
- ・指導者が優しく分かりやすく教えてくれる。部員の人たちも優しく楽しく話しかけてくれるから。
- ・練習がとても楽しいから。 ・やりたくてやっているから。 ・楽しいことばかりでなくきついときもある。

加入していない理由 (児童)

- ・時間が遅く、家で送り迎えができない。 ・塾の時間と重なっているため。
- ・そろばんなどをいっぱい習っているから。 ・緑の少年団に入っているから。
- ・スポーツは楽しいけど、やりたいと思わない。 ・スポーツ少年団にはないスポーツをしているから。
- ・やりたい種目がなくなったし、家の人を送り迎えできない。

加入させてよかった理由 (保護者)

- ・心身ともに鍛えられる。助け合いや思いやりの心とコミュニケーション力が育つ。
- ・いろいろなイベントで発表する度に自信がついて、ハキハキして発言回数が増えた。
- ・体力が付いた。夜の寝付きが良くなった。 ・スポ少以外ではなかなか体を動かす機会がないので。
- ・本人がやりたいと自分で決めたこと。上級生のがんばっている姿が見られて感心した。あいさつや集団行動を学べた。 ・子どもの時に熱中できることに取り組めるといことは重要だと思うから。
- ・様々な壁を乗り越えるという経験ができた。体力の向上。村外の大会など良い経験になる。仲間を尊重し協調性が身につく。思考力、判断力、表現力が培われる。
- ・社会性を身に付けてほしい。疲れるが宿題を忘れずやっている。体力が付いて時間の使い方が上手になってほしい。もりもり夕食を食べてたくましくなった。
- ・自分に自信がつき、スポーツ以外の勉強にも意欲的になった。遠征や大会の度に他校との友達の輪ができた。
- ・学校の勉強や送迎などで大変なことも多いが、子どもがやりたいと思い、自分で決め、目標に向かってがんばって練習しているので加入してよかったと思う。我慢すること、相手の気持ちを考えて行動すること、あいさつなどたくさん学ぶことができると思う。

加入していない理由 (保護者)

- ・やりたいスポーツがまだ年齢に満たないため。 ・土日に試合や練習があると、仕事で送迎できない。
- ・低学年で、周りの人たちに迷惑をかけるため。 ・他に習い事があるため。
- ・仕事の都合で送り迎えができない。 ・子どもがやりたくないと言っている。
- ・以前は加入していたが、家庭の都合も含めてやめました。 ・子どもがやりたい種目がスポーツ少年団にはない。
- ・子どもがやりたいと思っていなかったため。家庭の都合も合うようなら、ぜひやらせたい。

未来を担う子どもたちのために

小さい頃からスポーツや繊細な指使いを必要とする楽器等に親しむことは、運動神経が良くなったり、何かを上達したりするために大切なことと言われている。

その大切な時期をゴールデンエイジと呼び、概ね3歳から14歳頃までと言われています。ゴールデンエイジとは、「センス(応用力)」を磨くことの出来る時期で、様々な遊びやスポーツを経験させることで、神経系統が著しく発達すると言われています。

運動する機会が少なくなる近年において、ゴールデンエイジに運動する場としてのスポーツ少年団は重要な役割を果たしています。村のスポーツ少年団加入率は、県平均に比べ、高い水準を維持していますが、それでも小学校全校児童の半数です。

アンケート結果では、スポーツ少年団に加入して「楽しい」や「加入させて良かった」という意見が多数を占めています。しかし、「やりたい種目がない」、「送迎の問題」、「低学年の加入できる種目が少ない」などの問題も見えてきました。

人口減少が見込まれる中、未来を担う子どもたちが大切な時期にスポーツができる環境を守っていくことが重要であります。時代に合ったスポーツ少年団の姿をこれからも検討していく必要があります。